

CatalystスイッチでのVLAN.DATファイルの管理

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[vlan.dat ファイルの管理](#)

[スイッチの起動時](#)

[ファイル名と場所](#)

[VLAN 情報の表示](#)

[VLAN 情報のデフォルトへのリセット](#)

[vlan.datファイルの回復](#)

[vlan.datファイルのバックアップと復元](#)

[Archive Managementによるvlan.datのアーカイブ](#)

[VLAN 情報と冗長性](#)

[関連情報](#)

はじめに

VLAN 情報の表示

このドキュメントでは、Catalystスイッチが特別なvlan.datファイルでVLAN情報を維持する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。

-

Cisco Catalyst スイッチ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

-

Cisco IOS®ソフトウェアリリース12.1(26)E1が稼働するCisco Catalyst 6500スイッチ

-

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(22)EA9 が稼働している Cisco Catalyst 2950 スイッチ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

関連製品

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

-

Cisco IOS が稼働している Cisco Catalyst 6000、4500、4000 シリーズ スイッチ.

-

Cisco Catalyst 3750、3750E、3560、3560E、3550、2970、2960、2955、2950、2940シリーズスイッチ

表記法

表記法の詳細については、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

背景説明

Cisco IOSソフトウェアリリースが稼働するCisco Catalystスイッチでは、**vlan.dat**という名前の特別なファイルでVLAN情報が管理されています。このドキュメントでは、このファイルの目的と管理方法について説明します。

CatOS での VLAN または VTP の設定変更は、変更直後に NVRAM に書き込まれます。それとは対照的に、Cisco IOS ソフトウェアでは、copy run start コマンドを発行しないと、設定変更が NVRAM に保存されません。

VTP クライアントおよびサーバ システムでは、他の VTP サーバからの VTP アップデートが、ユーザの介入なしにすぐに NVRAM に保存される必要があります。CatOS のデフォルトの動作は VTP アップデートの要件を満たしますが、Cisco IOS ソフトウェアのアップデート モデルではこれに代わるアップデート動作が必要になります。このため、Catalyst スイッチ用の Cisco IOS

ソフトウェアでは VLAN データベースが導入されています。これは、VTP クライアントおよびサーバのための VTP アップデートを即座に保存するために導入されたものです。この VLAN データベースは vlan.dat ファイルという名前の別個のファイルの形式で NVRAM に保存されています。

vlan.dat ファイルの管理

スイッチの起動時

起動時に、スイッチはvlan.datファイルの内容とstartup-configの設定を比較して、vlan.datとstartup-configのどちらの設定を使用する必要があるかを判断します。VTP モード、ドメイン名、および VLAN 設定をスイッチの startup-config ファイルに保存してスイッチをリブートした場合は、次の条件に基づいて VTP 設定と VLAN 設定が選択されます。

•

VLAN データベースと設定ファイルの両方において、VTP モードがトランスペアレントで VTP ドメイン名が一致している場合は、VLAN データベースが無視されます。スタートアップ コンフィギュレーション ファイルの VTP 設定と VLAN 設定が使用されます。VLAN データベースのリビジョン番号は、VLAN データベース内で変更されないままになります。

•

起動 VTP モードがサーバ モードの場合、あるいは起動 VTP モードまたはドメイン名が VLAN データベースと一致しない場合、VLAN データベースの情報 (vlan.dat ファイルなど) によって最初の 1005 VLAN の VTP モードと VLAN 設定が選択されます。1005 より大きい VLAN は、スイッチの設定ファイルで設定されます。

vlan.dat ファイルがない場合、または vlan.dat ファイルが読み込めない場合、スイッチは次の状態で起動します。

Attribute	デフォルトの値
VTP モード	サーバ
VTPドメイン名	(名前なし/空)
VLAN	1、1002-1005

ファイル名と場所

デフォルトでは、VLANデータベースのファイル名は vlan.dat です。

ntp file <filename> コマンドを使用してファイルの名前を変更できます。 ntp file コマンドを使用して新しいデータベースをロードすることはできません。このコマンドは、既存のデータベースが保存されているファイルの名前変更にのみ使用できます。

次の例は、VTP 設定が保存されている IFS ファイル システム ファイルの指定方法を示しています。

<#root>

```
Switch(config)#
```

```
vtp file vtpconfig
```

```
Setting device to store VLAN database at filename vtpconfig.  
Switch(config)#
```

スイッチからアクセスできるのは、NVRAM に保存されている vlan.dat だけです。vlan.dat ファイルは、バックアップのためにその場所からコピーすることができます。vlan.dat ファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。copy コマンドを発行する前に、それぞれの製品マニュアルを参照してください。

Cisco Catalyst 6500/6000シリーズスイッチでは、const_nvram: です。同様に、Catalyst 4500/4000スイッチの場合は cat4000_flash: です。Cisco Catalyst 29xxシリーズおよびCisco Catalyst 35xx、3750シリーズでは、flash:と呼ばれます。

```
<#root>
```

```
Cat6K-Cisco IOS#dir const_nvram: Directory of const_nvram:/ 1 -rwx 856 <no date>
```

```
vlan.dat
```

```
129004 bytes total (128148 bytes free)
```

VLAN 情報の表示

バイナリのvlan.datファイルに保存されているすべてのVLAN設定、VLAN ID、名前などを表示するには、show vlan コマンドを発行します。

show vtp status コマンドを使用すると、VTP情報、モード、ドメインなどを表示できます。

スイッチがVTPサーバ/クライアントモードの場合、show running-config コマンド出力にVLAN情報とVTP情報は表示されません。これはスイッチの通常の動作です。

```
<#root>
```

```
Switch#
```

```
show run
```

```
| include vlan  
vlan internal allocation policy ascending  
Switch#
```

```
Switch#
```

```
show run
```

```
| include vtp  
Switch#
```

VTPトランスペアレントモードのスイッチでは、VLANおよびVTPの設定が show running-config コマンド出力で表示されます。これは、これらの情報も設定テキストファイルに保存されているためです。

```
<#root>
```

```
Switch#
```

```
show run
```

```
| include vlan  
vlan internal allocation policy ascending  
vlan 1  
  tb-vlan1 1002
```

```
tb-vlan2 1003
vlan 20-21,50-51
vlan 1002
tb-vlan1 1
tb-vlan2 1003
vlan 1003
tb-vlan1 1
tb-vlan2 1002
vlan 1004
vlan 1005
```

Switch#

show run

```
| include vtp
vtp domain cisco
vtp mode transparent
```

VLAN 情報のデフォルトへのリセット

Cisco IOS ソフトウェアが稼働している Cisco Catalyst スイッチの VLAN 設定をリセットするには、次の手順を実行してください。

この例では、Cisco Catalyst 6500 スイッチが VTP クライアント モードになっています。VLAN 情報をリセットするには、vlan.dat ファイルを削除し、スイッチをリロードします。

-

show vtp status コマンドと show vlan コマンドを発行して、元のVTP/VLAN情報を確認します。

<#root>

Cat6K-IOS#

show vtp status

```
VTP Version           : 2
Configuration Revision : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
```

Number of existing VLANs : 12
VTP Operating Mode : Client
VTP Domain Name : Cisco123

VTP Pruning Mode : Enabled
VTP V2 Mode : Disabled
VTP Traps Generation : Disabled
MD5 digest : 0xDF 0xCE 0x47 0x0B 0xD0 0x3F 0xEA 0x18
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)
Cat6K-IOS#

<#root>

Cat6K-IOS#

show vlan

VLAN Name	Status	Ports
1 default	active	Fa3/11, Fa3/16
5 VLAN0005	active	Fa3/1
10 VLAN0010	active	Fa3/5
20 Management_Vlan	active	Fa3/7, Fa3/9, Fa3/24
30 SW-3_PCs_Vlan	active	
40 SW-1_PCs_Vlan	active	
50 IP_Phone_Voice_Vlan	active	
60 Guest_Fail_Vlan	active	
1002 fddi-default	act/unsup	
1003 token-ring-default	act/unsup	
1004 fddinet-default	act/unsup	
1005 trnet-default	act/unsup	

VLAN	Type	SAID	MTU	Parent	RingNo	BridgeNo	Stp	BrdgMode	Trans1	Trans2
1	enet	100001	1500	-	-	-	-	-	0	0
5	enet	100005	1500	-	-	-	-	-	0	0
10	enet	100010	1500	-	-	-	-	-	0	0

!--- Rest of the output elided.

•

vlan.dat ファイルの状態を確認します。

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
dir const_nvram:
```

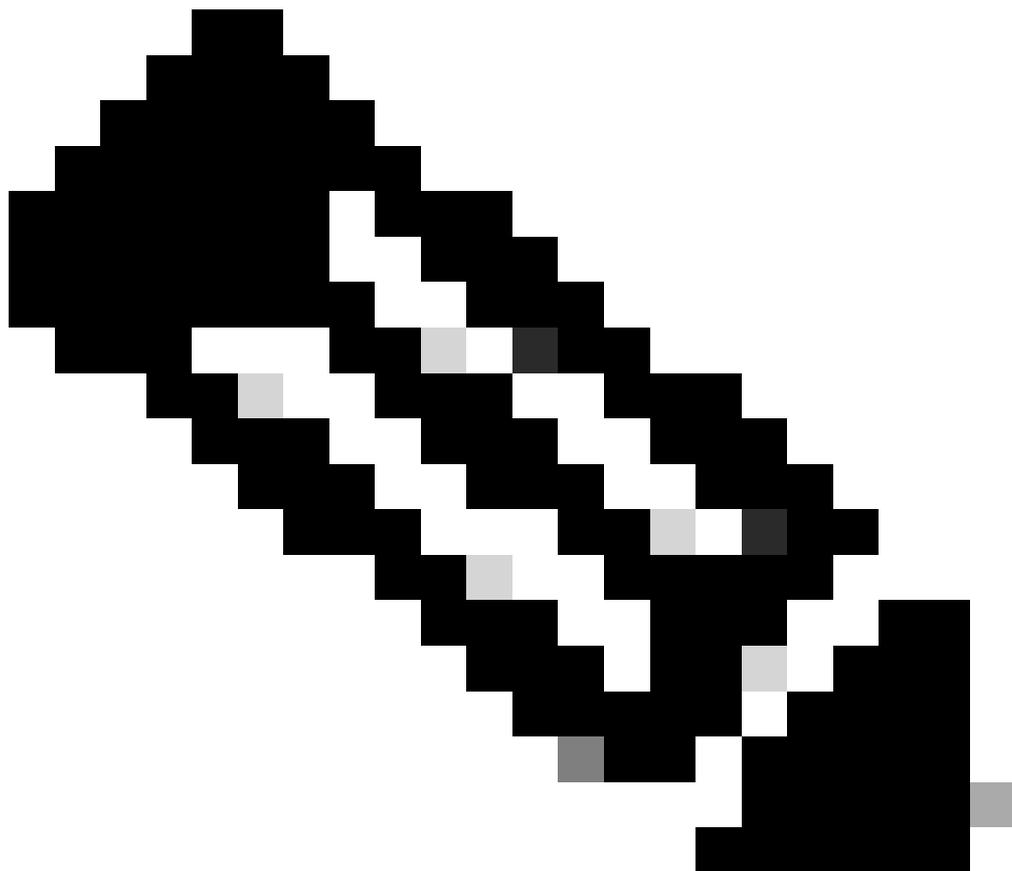
```
Directory of const_nvram:/
```

```
  1  -rw-          976          <no date>
```

```
vlan.dat
```

```
129004 bytes total (128028 bytes free)
```

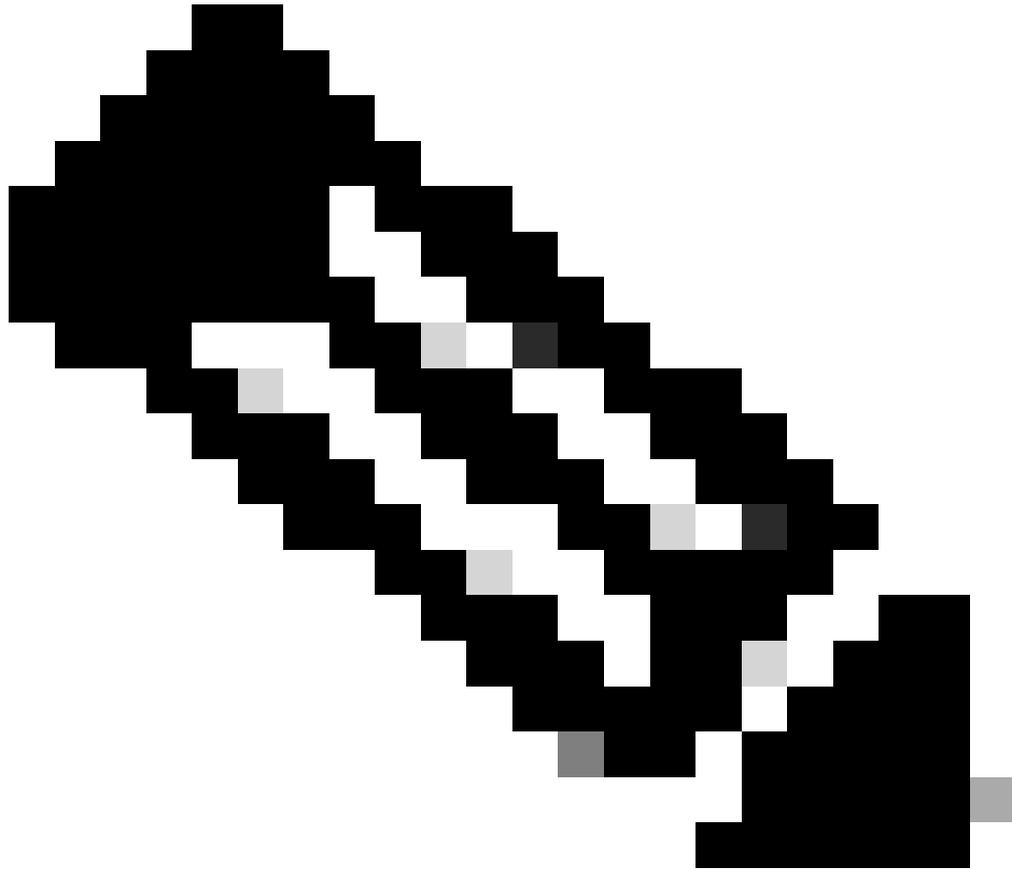
```
Cat6K-IOS#
```



注:vlan.datファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。詳細は、このドキュメントの「ファイル名と場所」セクションを参照してください。

-

vlan.dat ファイルを NVRAM から削除します。



注:NVRAMからファイルを削除する前に、ファイルのバックアップを作成することをお勧めします。手順については、「vlan.dat のバックアップとリストア」セクションを参照してください。

<#root>

Cat6K-IOS#

```
delete const_nvram:vlan.dat
```

Delete filename [vlan.dat]?

Delete const_nvram:vlan.dat? [confirm]

Cat6K-IOS#

dir const_nvram:

Directory of const_nvram:/
1 -rw-

0

<no date>

vlan.dat

129004 bytes total (129004 bytes free)
Cat6K-IOS#

vlan.dat ファイルのサイズがゼロ (0) であることに注意してください。

•

スイッチをリロードします。

<#root>

Cat6K-IOS#

reload

Proceed with reload? [confirm]

!--- Rest of the output no displayed.

•

スイッチが起動したら、VLAN 情報がデフォルト値に設定されているかどうかを確認します。デフォルト値は、「スイッチの起動時」セクションの[表を参照してください](#)。

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
show vtp status
```

```
VTP Version                : 2
Configuration Revision     : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
```

```
Number of existing VLANs   : 5
VTP Operating Mode         : Server
VTP Domain Name            :
```

```
VTP Pruning Mode           : Disabled
VTP V2 Mode                : Disabled
VTP Traps Generation       : Disabled
MD5 digest                 : 0x57 0xCD 0x40 0x65 0x63 0x59 0x47 0xBD
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)
```

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
show vlan
```

VLAN Name	Status	Ports
1 default	active	Fa3/11, Fa3/16
1002 fddi-default	act/unsup	
1003 token-ring-default	act/unsup	
1004 fddinet-default	act/unsup	
1005 trnet-default	act/unsup	

VLAN	Type	SAID	MTU	Parent	RingNo	BridgeNo	Stp	BrdgMode	Trans1	Trans2
1	enet	100001	1500	-	-	-	-	-	0	0
1002	fddi	101002	1500	-	-	-	-	-	0	0
1003	tr	101003	1500	-	-	-	-	-	0	0
1004	fdnet	101004	1500	-	-	-	ieee	-	0	0
1005	trnet	101005	1500	-	-	-	ibm	-	0	0

Remote SPAN VLANs

Primary	Secondary	Type	Ports

Cat6K-IOS#

<#root>

Cat6K-IOS#

dir const_nvram:

Directory of const_nvram:/

1 -rw-

0

<no date>

vlan.dat

129004 bytes total (129004 bytes free)

Cat6K-IOS#

この時点で、VTP VLAN 設定の変更を次の 2 つの方法でトリガーできます。

- デバイスのユーザ設定 (CLI/SNMP)
- 同じ VTP ドメインにある他のデバイスからの VTP のアップデート

このことは、スイッチが元々クライアント モードであったとしても、単に保存されている他の設定を適用しただけではクライアント モードには戻せないことを意味します。スイッチをクライアント モードに戻すには、ネットワーク管理者がグローバル コンフィギュレーション モードで `vtp mode client` コマンドを使用して手作業でシステムを設定する必要があります。

vlan.dat ファイルの回復

vlan.dat ファイルが誤って削除されて、スイッチがリロードされる場合、スイッチで使用可能だったすべての VLAN が失われます。スイッチがリロードされるまで、この VLAN 情報がスイッチに存在することになります。

vlan.dat ファイルを回復するには、次の手順を実行します。

- show vlan コマンドを発行して、VLAN 情報が使用可能であることを確認します。

```
<#root>
```

```
Switch#
```

```
show vlan
```

VLAN Name	Status	Ports
1 default	active	Fa0/1, Fa0/2, Fa0/3, Fa0/4 Fa0/5, Fa0/6, Fa0/7, Fa0/8 Fa0/10, Fa0/11, Fa0/12, Gi0/1 Gi0/2
10 VLAN0010	active	
11 VLAN0011	active	
20 VLAN0020	active	
21 VLAN0021	active	
30 VLAN0030	active	
31 VLAN0031	active	
40 VLAN0040	active	
41 VLAN0041	active	
50 Vlan50	active	
100 100thVLAN	active	

•

スイッチが VTP サーバー モードまたは透過モードの場合は、VLAN データベースを変更します。

VLAN データベースには、次のいずれの変更でも行えます。

•

VLAN を作成する。

•

任意の VLAN を削除する。

•

既存の VLAN のアトリビュートの変更

スイッチが VTP クライアント モードの場合、同じドメインの任意の VTP サーバーで VLAN データベースを変更します。

```
<#root>
```

```
Switch#
```

```
configure terminal
```

```
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
Switch(config)#
```

```
vlan 50
```

```
Switch(config-vlan)#
```

```
name 50thVLAN
```

```
Switch(config-vlan)#end  
Switch#
```

いずれかの変更を VLAN データベースで行えば、vlan.dat ファイルがスイッチで自動的に作成されます。

•

vlan.dat ファイルの作成を確認するには、show flash: コマンドを発行します。

```
<#root>
```

```
Switch#
```

```
show flash:
```

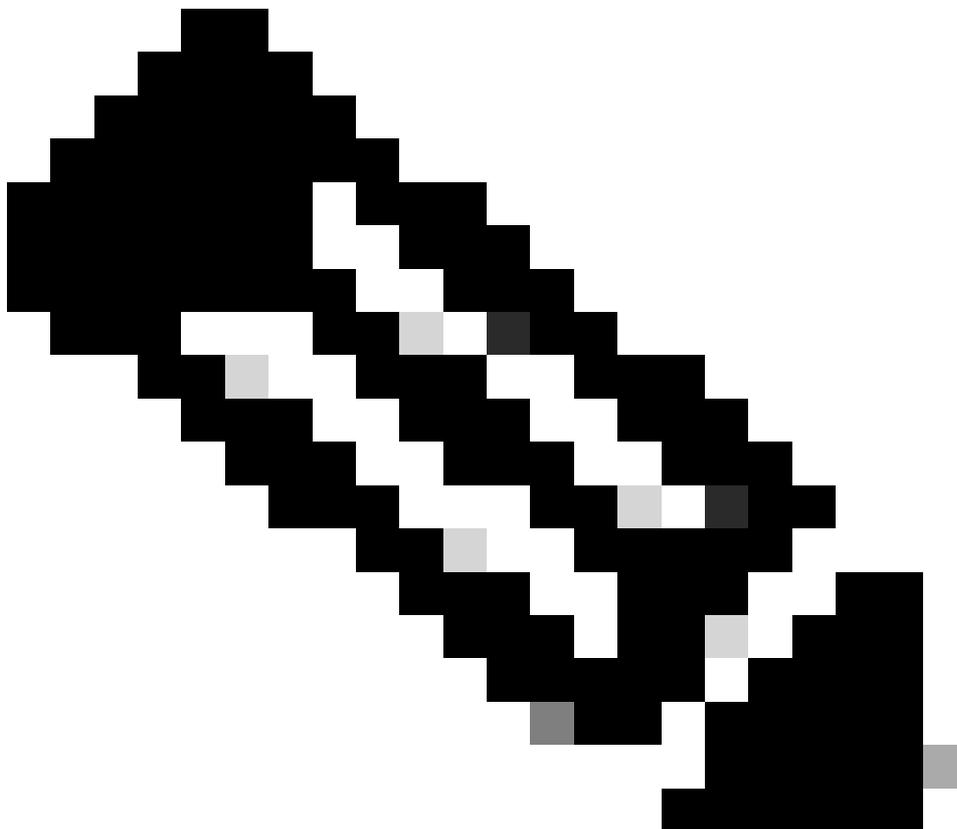
```
Directory of flash:/
```

```
 2  -rwx          5  Mar 01 1993 00:04:47  private-config.text  
 3  -rwx      2980487  Mar 02 1993 06:08:14  c2950-i6q4l2-mz.121-19.EA1a.bin
```

4 -rwx 1156 Mar 01 1993 01:51:27

vlan.dat

```
16 -rwx 1014 Mar 01 1993 00:04:47 config.text
6 drwx 4096 Mar 02 1993 03:49:26 html
7 -rwx 3121383 Mar 02 1993 03:47:52 c2950-i6q412-mz.121-22.EA9.bin
7741440 bytes total (65536 bytes free)
```



注:vlan.datファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。詳細は、「ファイル名と場所」セクションを参照してください。

vlan.datファイルのバックアップと復元

vlan.datファイルをバックアップする必要があるネットワーク管理者 (特にVTPサーバシステム)。vlan.dat のファイルは、他のファイル(ブートフラッシュ、disk0:、bootdisk:、tftp:、ftp : など)と同じ場所に保存できます。他の場所へのコピーはできますが、読み込みが可能なのは NVRAM からだけです。

設定を完全にバックアップするには、設定とともに vlan.dat ファイルをバックアップに含める必要があります。その後、スイッチ全体またはスーパーバイザ エンジン モジュールを交換する必要がある場合は、ネットワーク管理者が次のファイルを両方ともアップロードして、設定全体を回復する必要があります。

-

vlan.datファイル

-

コンフィギュレーション ファイル

Stateful Switchover (SSO) を実行している場合は、デュアル スーパーバイザ環境に影響が及びます。ファイルとファイルの同期はNVRAMに対してのみ可能なので、vlan.datがブートフラッシュなどのNVRAM以外の場所にある場合は、アクティブ側とスタンバイ側のスーパーバイザ間でvlan.datファイルの同期をとることができません。代わりに、スタンバイSPは新しいVLANデータを受信すると、スタンバイvlan.datに設定を書き込むことができます。

最後に、保存されている vlan.dat をすでに起動しているシステムに適用する場合は、新しく適用した vlan.dat 設定を有効にするためにシステムをリロードする必要があります。

-

show vtp status コマンドと **show vlan** コマンドを発行して、元の VTP/VLAN 情報を確認します。

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
show vtp status
```

VTP Version : 2
Configuration Revision : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005

Number of existing VLANs : 12
VTP Operating Mode : Client
VTP Domain Name : Cisco123

VTP Pruning Mode : Enabled
VTP V2 Mode : Disabled
VTP Traps Generation : Disabled
MD5 digest : 0xDF 0xCE 0x47 0x0B 0xD0 0x3F 0xEA 0x18
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)
Cat6K-IOS#

Cat6K-IOS#

show vlan

VLAN Name	Status	Ports
1 default	active	Fa3/11, Fa3/16
5 VLAN0005	active	Fa3/1
10 VLAN0010	active	Fa3/5
20 Management_Vlan	active	Fa3/7, Fa3/9, Fa3/24
30 SW-3_PCs_Vlan	active	
40 SW-1_PCs_Vlan	active	
50 IP_Phone_Voice_Vlan	active	
60 Guest_Fail_Vlan	active	
1002 fddi-default	act/unsup	
1003 token-ring-default	act/unsup	
1004 fddinet-default	act/unsup	
1005 trnet-default	act/unsup	

VLAN Type	SAID	MTU	Parent	RingNo	BridgeNo	Stp	BrdgMode	Trans1	Trans2
1 enet	100001	1500	-	-	-	-	-	0	0
5 enet	100005	1500	-	-	-	-	-	0	0
10 enet	100010	1500	-	-	-	-	-	0	0

!--- Rest of the output elided.

.

vlan.dat ファイルの状態を確認します。

<#root>

Cat6K-IOS#

dir const_nvram:

Directory of const_nvram:/

1 -rw-

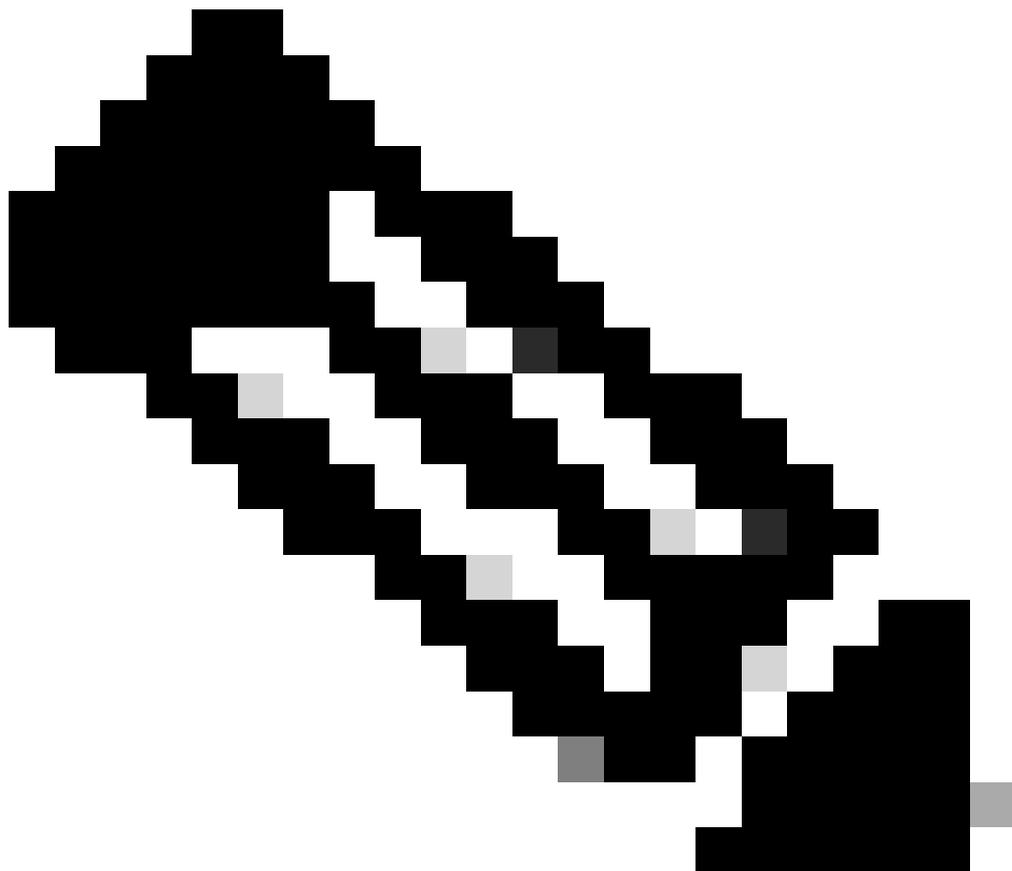
976

<no date>

vlan.dat

129004 bytes total (128028 bytes free)

Cat6K-IOS#



注:vlan.datファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。詳細は、「ファイル名と場所」セクションを参照してください。

-

既存の vlan.dat ファイルをバックアップします。

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
copy const_nvram:vlan.dat bootflash:vlan.dat
```

```
Destination filename [vlan.dat]?  
976 bytes copied in 0.516 secs (1891 bytes/sec)
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
show bootflash:
```

```

-#- ED ----type---- --crc--- -seek-- nlen -length- -----date/time----- n
ame
1  .. image          C32839CA 2349AC   30 1788204 May 31 2006 18:15:50 +00:00 c
6msfc2-boot-mz.121-13.E17.bin
2  .. unknown       1D1450E8 234DFC    8    976 Dec 01 2008 01:43:18 +00:00
```

```
v
lan.dat
```

```
13414916 bytes available (1789436 bytes used)
```

•

```
vlan.dat ファイルを NVRAM から削除します。
```

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
delete const_nvram:vlan.dat
```

```
Delete filename [vlan.dat]?  
Delete const_nvram:vlan.dat? [confirm]
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
dir const_nvram:
```

```
Directory of const_nvram:/  
  1  -rw-          0          <no date>  vlan.dat  
129004 bytes total (129004 bytes free)  
Cat6K-IOS#
```

•

スイッチをリロードします。

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
reload
```

```
Proceed with reload? [confirm]
```

```
!--- Rest of the output elided.
```

•

リロードした後、VTP/VLAN の情報がリセットされていることを確認します。

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
show vtp status
```

```
VTP Version           : 2  
Configuration Revision : 0
```

Maximum VLANs supported locally : 1005

Number of existing VLANs : 5
VTP Operating Mode : Server
VTP Domain Name :

VTP Pruning Mode : Disabled
VTP V2 Mode : Disabled
VTP Traps Generation : Disabled
MD5 digest : 0x57 0xCD 0x40 0x65 0x63 0x59 0x47 0xBD
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)

既存の VLAN の数が 12 から 5 に減り、Cisco123 だったドメインが空白になっていることに注意してください。

<#root>

Cat6K-IOS#

dir const_nvram:

Directory of const_nvram:/
 1 -rw- 0 <no date> vlan.dat
129004 bytes total (129004 bytes free)
Cat6K-IOS#

.

保存されていた vlan.dat ファイルを NVRAM にコピーします。

<#root>

Cat6K-IOS#

copy bootflash:vlan.dat const_nvram:vlan.dat

```
Destination filename [vlan.dat]?
976 bytes copied in 0.688 secs (1419 bytes/sec)
Cat6K-IOS#
```

```
Cat6K-IOS#dir const_nvram:
Directory of const_nvram:/
  1  -rw-          976                <no date>
```

```
vlan.dat
```

```
129004 bytes total (128028 bytes free)
Cat6K-IOS#
```

•

VTP のステータスに変化があるかどうかを確認します。スイッチが起動したときに vlan.dat ファイルは読み取り専用であるため、変化は見られません。変更を有効にするには、スイッチをリロードします。

```
<#root>
```

```
Cat6K-IOS#
```

```
show vtp status
```

```
VTP Version           : 2
Configuration Revision : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
```

```
Number of existing VLANs : 5
VTP Operating Mode       : Server
VTP Domain Name         :
```

```
VTP Pruning Mode       : Disabled
VTP V2 Mode            : Disabled
VTP Traps Generation   : Disabled
MD5 digest              : 0x57 0xCD 0x40 0x65 0x63 0x59 0x47 0xBD
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface)
```

found)
Cat6K-IOS#

•

スイッチをリロードします。

<#root>

Cat6K-IOS#

reload

Proceed with reload? [confirm]

!--- Rest of the output elided.

•

スイッチが起動したら、VLAN/VTP 情報が正しくリストアされたかどうかを確認します。

<#root>

Cat6K-IOS#

show vtp status

VTP Version : 2
Configuration Revision : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005

Number of existing VLANs : 12
VTP Operating Mode : Server
VTP Domain Name : Cisco123

```

VTP Pruning Mode           : Enabled
VTP V2 Mode                : Disabled
VTP Traps Generation      : Disabled
MD5 digest                 : 0xDF 0xCE 0x47 0x0B 0xD0 0x3F 0xEA 0x18
Configuration last modified by 172.16.5.12 at 11-16-07 03:23:56
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface
found)
Cat6K-IOS#

```

<#root>

Cat6K-IOS#

show vlan

VLAN	Name	Status	Ports
1	default	active	Fa3/11, Fa3/16
5	VLAN0005	active	Fa3/1
10	VLAN0010	active	Fa3/5
20	Management_Vlan	active	Fa3/7, Fa3/9, Fa3/24
30	SW-3_PCs_Vlan	active	
40	SW-1_PCs_Vlan	active	
50	IP_Phone_Voice_Vlan	active	
60	Guest_Fail_Vlan	active	
1002	fddi-default	act/unsup	
1003	token-ring-default	act/unsup	
1004	fddinet-default	act/unsup	
1005	trnet-default	act/unsup	

VLAN	Type	SAID	MTU	Parent	RingNo	BridgeNo	Stp	BrdgMode	Trans1	Trans2
1	enet	100001	1500	-	-	-	-	-	0	0
5	enet	100005	1500	-	-	-	-	-	0	0
10	enet	100010	1500	-	-	-	-	-	0	0
20	enet	100020	1500	-	-	-	-	-	0	0

!--- Rest of the the output not shown.

Archive Managementによるvlan.datのアーカイブ

Archive Management アプリケーションでは、Resource Manager Essentials (RME) で管理されているデバイスの vlan.dat ファイルの

アクティブなアーカイブを管理します。次の作業を実行できます。

- デバイス設定 (vlan.dat ファイルを含む) の取得、およびアーカイブ
- アーカイブされたデータに対する検索やレポートの作成
- 設定 (vlan.dat ファイルを含む) の比較およびラベル付け

Archive Management アプリケーションについての詳細は、『[コンフィギュレーションのアーカイブと Archive Management を使用したコンフィギュレーションの管理](#)』を参照してください。

RMEスイートは、CiscoWorksファミリ製品のバンドルの1つであるCiscoWorks LAN Management Solution(LMS)の一部です。ネットワークを管理する企業向けのソリューションです。RME は Web ベースのアプリケーションの強力なスイートであり、Cisco のスイッチ、アクセス サーバ、およびルータ向けのネットワーク管理ソリューションです。

RMEとそのアプリケーションについての詳細は、『[RME Essentials](#)』を参照してください。

VLAN 情報と冗長性

スーパーバイザ エンジンの冗長構成では、デフォルト以外の VLAN データ ファイル名や位置はサポートされていません。冗長スーパーバイザ エンジンを持つスイッチに対して、`vtp file file_name` コマンドは入力しないでください。

冗長スーパーバイザ エンジンをインストールする前に、`no vtp file` コマンドを入力して、デフォルト設定に戻します。

Route Processor Redundancy (RPR+) による冗長構成では、VLAN データベース モードで入力された設定はスーパーバイザ エンジンの冗長構成でサポートされていません。RPR+ による冗長構成ではグローバル コンフィギュレーション モードを使用してください。

SSOでは、アクティブSPからスタンバイSPへのNVRAMのvlan.datファイルの同期が引き続き行われるため、VLANレコードの同期の途中でスイッチオーバーが発生した場合、スタンバイ側はNVRAMからバイナリファイルをロードして回復できます。ファイルとファイルの同期はNVRAMに対してのみ使用できるため、バイナリファイルがブートフラッシュなどのNVRAM以外の場所にある場合は、アクティブとスタンバイ間のvtp binary configファイルの同期は行えません。実際に、vlan.datがNVRAMにない場合、スタンバイブートアップ中に、スタンバイスーパーバイザはオンラインになりません。vlan.datの場所をNVRAMに変更するようにユーザに求めるエラーメッセージがアクティブスーパーバイザに表示される。

関連情報

- [Catalyst スイッチでのイーサネット VLAN の作成](#)
- [VLAN Trunk Protocol \(VTP\) について](#)
- [Cisco IOS が動作している Catalyst 6500/6000 シリーズおよび Catalyst 4500/4000 シリーズ スイッチのベスト プラクティス](#)
- [Catalyst 4500 シリーズ スイッチ ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド、12.2\(46\)SG](#)
- [Catalyst 6500 リリース 12.2SXH 以降のソフトウェアのコンフィギュレーション ガイド](#)
- [スイッチのサポート](#)
- [LAN スイッチング](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。